

# 第47回(2024年度)全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会【戦評】

会場：千葉県国際総合水泳場

【2025/3/30】

**C3位**

原田学園SS

3

0	—	3
2	—	1
0	—	1
1	—	1

6

京都水球クラブ

PSO

富松 奈穂子

審判：

奥岡 飛沫

## この試合のプレー集計

原田学園	16	SH数	16	京都水球クラブ
S	0	速攻数	0	
S	6	ST・SB	8	
S	4	SH・P誘発アシスト	4	
S	50%	GK阻止率	67%	
S	3	EX反則数	2	

ST・SB：ボール奪取・SH阻止

## 【試合の流れ】

準決勝で僅差で敗れて決勝進出を逃した原田学園SSと、夏JO覇者の春野に最後まで粘った京都水球との3位決定戦。高い位置からのディフェンスを武器に戦う京都水球と、攻撃力に軸足を置いた水球を展開する原田学園と対照的なチームの戦い。どちらが自分たちのペースでゲームを支配できるかがポイント。

### <1P>

京都は予想通りのノーファウルプレスDFで原田の攻撃を摘む展開に。原田の選択肢のない6mSH外しから、京都が攻め上がり、⑩片山がミドルSHを決めて先制。その後も、原田攻撃中のファウルを起点に京都が中心ライン攻撃を仕掛け、⑤岡口がペナルティ誘発。エース②吉田が決めて2点目。さらに⑨松村が右45°からのシュートを決めて原田0-3京都と、京都が試合の主導権を握って第1ピリオドを終了。京都②吉田のDFが効き、原田は容易に攻撃できない形で苦戦。今後、京都DFにどう対処するか。

### <2P>

優勢の京都はセンターボールを奪取し、そのまま⑧園がセンターSHを決めて原田0-4京都と安全圏に。うまくかみ合わない原田はタイムアウトを取って立て直しを図る。その甲斐あってか、原田⑥亀井がミドルSHを決めて原田1-4京都と点差を詰め、さらにピリオド終了間際にも、原田GK①森永のシュートブロックから攻め上がり、GK⑬東がセンターシュートを決めて、原田2-4京都で前半を折り返した。徐々に原田は前線にボールが回るようになったが、相変わらず、京都②吉田のノーファウルプレスには手を焼く展開で、試合の主導権は京都側という前半であった。

### <3P>

このピリオド、お互いにシュートにまで攻撃が継続できない展開が続いた。その中で、原田側のセンターSHが外れたタイミングで京都②吉田がいい位置取り。そこでペナルティ誘発して自身で決めて原田2-5京都と突き放す形で第3ピリオド終了。

### <4P>

この試合、原田は思うようにボールが回らず、ベンチにも焦りが続く。京都のプレスDFに根負けして、無理な態勢で原田がシュートを打つも、そこを京都に狙われてしまい、⑧園が決めて、原田2-6京都と4点差に。4P中盤でのこの点差は致命的。最後に原田⑥亀井が意地の6mSHを決めて、原田3-6京都で試合終了。京都水球クラブが第3位、原田学園が第4位となった。